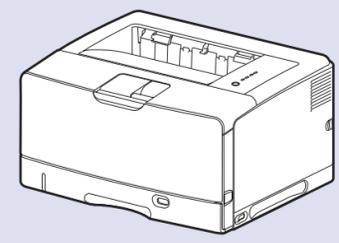


## かんたんメンテナンスガイド



### かんたんメンテナンスガイドについて

かんたんメンテナンスガイドには、本プリンタのメンテナンス方法の概要を紹介しています。ただし、プリンタを取り扱うための注意事項や制限事項は記載されていませんので、必ず**ユーザーズガイド**もあわせてお読みください。

### ユーザーズガイド(PDF)の見かた

ユーザーズガイドは付属のCD-ROM (LBP3500 User Software) にPDFファイルで収められています。PDF形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Readerが必要です。ご使用のシステムにAdobe Reader/Adobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

**■ Windowsをお使いの場合**  
 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると次の画面 (CD-ROM Setup) が表示されます。  
 ※すでにCD-ROMがセットされている場合は、いったんCD-ROMを取り出してもう一度セットします。

取扱説明書を見るには、ここをクリックし、表示された画面のユーザーズガイドの横にあるをクリックすると、PDFマニュアルが表示されます。



**● CD-ROMをセットしてもCD-ROM Setupが表示されないときは...**  
 CD-ROM Setupが表示されない場合は、次の方法で表示します。(ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROMドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。)  
 ・Windows Vista以外のOSの場合は、[スタート]メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択して [D:¥Japanese¥Minst.exe] と入力し、[OK] をクリックします。  
 ・Windows Vistaの場合は、[スタート]メニューの [検索の開始] に [D:¥Japanese¥Minst.exe] と入力し、キーボードの [ENTER] キーを押します。

**■ Macintoshをお使いの場合**  
 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、CD-ROMアイコン → [Manuals] → [ユーザーズガイド.pdf] の順にダブルクリックします。  
 ※Macintosh上では、付属のCD-ROMのCD-ROM Setupは表示されません。



FT5-2975 (000) XXXXXXXXXX ©CANON INC. 2009 PRINTED IN JAPAN

### 各部の名称とはたらき

- 補助トレイ** A3サイズ用紙など長いサイズの用紙を排紙トレイに排紙するときに、用紙が垂れ下がらないように開けます。
- 手差しトレイ** 用紙を手差しトレイから給紙するときに、用紙をセットします。
- 補助トレイ** 手差しトレイに用紙をセットするときは、必ず補助トレイを引き出してください。
- 延長トレイ** A3サイズ用紙など長いサイズの用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように開けます。
- 用紙ガイド** 手差しトレイにセットした用紙の幅に合わせてガイドの位置を調整します。積載制限ガイドが付いており、このガイドの下まで用紙をセットできます。
- USBコネクタ** USBケーブルの接続部です。コンピュータなどのUSBポートに接続します。
- 拡張ボードスロット** オプションのネットワークボードを取り付けます。
- 電源コード差し込み口** 付属の電源コードをここに接続します。
- 排紙トレイ** 印刷された用紙が下向きで排紙されます。
- 前カバー** トナーカートリッジの交換や紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。
- 操作パネル** プリンタの状態を示すランプとジョブをキャンセルすることができます。
- 通気口** プリンタ内部冷却用の通気口です。
- 運搬用取っ手** プリンタを運ぶときは、ここを持ちます。
- 電源スイッチ** プリンタの電源をオン/オフします。
- 給紙カセット** 普通紙 (64g/m<sup>2</sup>の場合) で最大250枚までの用紙をセットすることができます。
- サブ排紙トレイ** 印刷された用紙が上向きで排紙されます。
- 補助トレイ** A4サイズ用紙など大きいサイズの用紙をサブ排紙トレイに排紙するときに、用紙が垂れ下がらないように引き出します。
- 延長トレイ** A3サイズ用紙など長いサイズの用紙をサブ排紙トレイに排紙するときに、用紙が垂れ下がらないように開けます。
- 両面ユニットカバー** オプションの両面ユニットを取り付けるときに、取り外します。両面ユニットを取り付けていない場合は、必ず両面ユニットカバーを取り付けてください。
- トナーカートリッジガイド** トナーカートリッジをセットするときは、左右の突起をこのガイドに合わせて押し込みます。
- 搬送ガイド** 前カバー内部の紙づまりを除去するときに、ここを持ち上げて作業します。
- 定格銘板ラベル** プリンタ識別のためのシリアルナンバー (Serial No.) が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値は、平均消費電流です。

### ランプとキーについて

- 給紙ランプ (オレンジ色)** 点灯: すべての給紙部に用紙がない状態、または給紙できない状態。  
点滅: 用紙なしの状態、または印刷するサイズの用紙がセットされていない状態。
- 紙づまりランプ (オレンジ色)** 点滅: 紙づまりが発生して印刷できない状態。
- エラーランプ (オレンジ色)** 点灯: サービスコールが発生している状態。  
点滅: エラーが発生して印刷できない状態。
- 印刷可能ランプ (緑色)** 点灯: 印刷可能な状態。  
点滅: 印刷中、ウォームアップ中、クリーニング中、一時停止中など、プリンタが何らかの処理または動作を行っている状態。
- ジョブキャンセルキー/ジョブキャンセルランプ (オレンジ色)** このキーを押すと、エラーが発生しているジョブや印刷中のジョブをキャンセルすることができます。キーを押している間はランプが点灯します。ジョブのキャンセル処理中はランプが点滅します。

## トナーカートリッジの交換手順

トナーカートリッジが寿命になるとプリンタステータスウィンドウ (Windows) /ステータスマニタ (Macintosh) に次のメッセージが表示されます。  
 例) プリンタステータスウィンドウ (Windows)



交換の際は、必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

機種名	対応するキャノン純正トナーカートリッジ
LBP3500	Cartridge 509

\* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

## Step1 トナーカートリッジを取り出し、搬送ガイドを清掃する

- 1 前カバーを開けます。**  

 前カバー上面にあるレバーを押しながら、ゆっくりと開けます。
- 2 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。**  

 搬送ガイドは緑色の取っ手を持って持ち上げます。
- 3 搬送ガイドを持ち上げます。**  

 搬送ガイドは緑色の取っ手を持って持ち上げます。
- 4 水を含ませて固く絞った布で、搬送ガイドに付いている紙粉やトナーをふき取ります。**  

 ふき取ったら、乾いた柔らかい布でからぶきしてください。
- 5 搬送ガイドをゆっくりと元の位置に戻します。**

## Step2 トナーカートリッジを準備する

- 1 トナーカートリッジを保護袋から取り出します。**  

 保護袋は左右に切り込みがありますので、手で切り取って開けることができます。
- 2 トナーカートリッジを押さえながらテープをゆっくりと引き上げてはがし①、黒い保護シートごと取り外します②。**
- 3 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと5〜6回振って、内部のトナーを均一にします。**

**Point**

- ※曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けないことがあります。
- ※シーリングテープを引き抜くときは、トナーカートリッジメモリ (A) に触れたり、ドラム保護シャッター (B) を手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。

## Step3 トナーカートリッジを取り付ける

- 1 図のように矢印の付いている面を上にして、トナーカートリッジを正しく持ちます。**
- 2 トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。**  

 トナーカートリッジの (A) をトナーカートリッジガイド (B) に合わせて止まるまで差し込みます。
- 3 前カバーを閉めます。**  

 前カバーは確実に閉めます。

**Point**

前カバーが開かないことを確認してください (前カバーとプリンタの間に隙間が空いていたり、前カバーがぐらついていないことを確認してください)。前カバーが確実に閉まっていないと、印字不良の原因になります。

### お問い合わせ先

**■ 消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口**  
 消耗品・オプション製品をお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキャノン製品取り扱い店にてお問い合わせください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

**■ 修理サービスご相談窓口**  
 修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

**■ お客様相談センター (全国共通番号)**

**050-555-90061**

【受付時間】 <平日> 9:00~20:00 <土日祝日> 10:00~17:00  
 (1/1~3は休ませていただきます)  
 ※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。  
 ※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。  
 ※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

**■ Canonホームページ**

<http://canon.jp>

# 紙づまりの処理手順

プリンタに紙が詰るとプリンタステータスウィンドウ (Windows) / ステータスマニタ (Macintosh) に次のメッセージが表示されます。

例) プリンタステータスウィンドウ (Windows)



プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。紙づまりの処理をするときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になります。

**Point**  
前カバーを開けたあと、前カバーが開かないことを確認してください (前カバーとプリンタの間に隙間が空いていたり、前カバーがちゃんと閉まっていないことを確認してください)。前カバーが確実に閉まっていないと、印字不良の原因になります。

メッセージ	除去手順
手差しトレイ	紙づまりの除去 (手差しトレイエリア)
カセット1/2	紙づまりの除去 (カセット1/カセット2エリア)
前カバー	紙づまりの除去 (前カバーエリア)
排紙トレイ/サブ排紙トレイ	紙づまりの除去 (排紙トレイ/サブ排紙トレイエリア)
両面ユニット	紙づまりの除去 (両面ユニットエリア)

## 紙づまりの除去 (手差しトレイエリア)

- 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイに詰まっている用紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。
- 前カバーを開けます。
- 前カバーを閉めます。

つまった用紙が簡単に取れない場合は、無理に引っばらずに「紙づまりの除去 (前カバーエリア)」に進んでください。

前カバー上面にあるレバーを押しながら、ゆっくりと開けます。

前カバーは確実に閉めます。

## 紙づまりの除去 (前カバーエリア)

- 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイに詰まっている用紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。
- 前カバーを開けます。
- トナーカートリッジをプリンタから取り出します。
- トナーカートリッジを保護袋に入れます。
- 前カバー内側につまっている用紙を取り除きます。
- 搬送ガイドを持ち上げます。
- つまっている用紙を取り除きます。
- トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。
- 前カバーを閉めます。

つまった用紙が簡単に取れない場合は、無理に引っばらずに次の手順に進んでください。

前カバー上面にあるレバーを押しながら、ゆっくりと開けます。

搬送ガイドは緑色の取手を持って持ち上げます。

用紙の手前側を搬送ガイドから送り出してから①、用紙をゆっくりと矢印の方向に取り除きます②。定着していないトナーをこぼさないようにゆっくりと矢印の方向に取り除いてください。

トナーカートリッジの (A) をトナーカートリッジガイド (B) に合わせて止まるまで差し込みます。

前カバーは確実に閉めます。

## 紙づまりの除去 (カセット1/カセット2エリア)

- 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイに詰まっている用紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。
- ペーパーフィーダが装着されている場合は、給紙カセットを引き出します。
- プリンタ本体の給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出し①、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します②。
- つまっている用紙を取り除きます。
- 給紙カセットを斜めに差し込み①、ゆっくりと水平に押し込んでプリンタ本体にセットします②。
- 給紙カセットを斜めに差し込み①、ゆっくりと水平に押し込んでペーパーフィーダにセットします②。
- 前カバーを開けます。
- 前カバーを閉めます。

つまった用紙が簡単に取れない場合は、無理に引っばらずに「紙づまりの除去 (前カバーエリア)」に進んでください。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します①。取っ手 (A) を両手で持って、給紙カセットの手前を少し持ち上げてから、完全に引き出します②。

プリンタ本体の給紙カセットに用紙が詰まっている場合は、図のように下に引っばって取り除きます。

ペーパーフィーダとプリンタ本体の間に用紙が詰まっている場合は、図のようにプリンタ本体側から取り除きます。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

ペーパーフィーダが装着されている場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットもセットします。

前カバー上面にあるレバーを押しながら、ゆっくりと開けます。

前カバーは確実に閉めます。

## 紙づまりの除去 (排紙トレイ/サブ排紙トレイエリア)

- 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイに詰まっている用紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。
- 前カバーを開けます。
- 排紙先 (排紙トレイ、サブ排紙トレイ) に詰まっている用紙を取り除きます。  
つまった用紙が簡単に取れない場合は、無理に引っばらずに次の手順に進んでください。

前カバー上面にあるレバーを押しながら、ゆっくりと開けます。

■排紙トレイを使用していた場合  
排紙トレイに詰まっている用紙を取り除きます。

サブ排紙トレイを開けます。

サブ排紙トレイ内の白い搬送ガイドを開けて①、つまっている用紙を取り除きます②。

用紙の先端を手前に送り出してから、つまっている用紙を取り除きます。

■両面ユニットが装着されていない場合  
サブ排紙トレイを閉めます。

■両面ユニットが装着されている場合  
両面ユニットを止まる位置までゆっくりと引き出し①、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します②。

サブ排紙トレイを少し閉じて①、黒い搬送ガイドのフックを取り外します②。

※両面ユニットを取り外すときは、必ず前カバーが開いていることを確認してください。前カバーが閉まっている状態で両面ユニットを取り外すと、印刷可能な状態にするために電源を入れなおす必要があります。電源を一度切ると、印刷中のデータが消去されてしまいます。

サブ排紙トレイを図の位置まで開けます。

つまっている用紙を取り除きます。

サブ排紙トレイを閉めます。

両面ユニットを図のように持って、水平にしっかりと奥まで押し込みます。

前カバーは確実に閉めます。

## 紙づまりの除去 (両面ユニットエリア)

- 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイに詰まっている用紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。
- 前カバーを開けます。
- 排紙トレイに詰まっている用紙を取り除きます。
- トナーカートリッジをプリンタから取り出します。
- トナーカートリッジを保護袋に入れます。
- 両面印刷して紙づまりが起こった場合は、以下の手順を行ってください。両面印刷をしていない場合は、次の手順に進みます。
- 以下の手順を行います。
- 両面ユニットを図のように持って、水平にしっかりと奥まで押し込みます。
- トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。
- 前カバーを閉めます。

つまった用紙が簡単に取れない場合は、無理に引っばらずに「紙づまりの除去 (前カバーエリア)」に進んでください。

前カバー上面にあるレバーを押しながら、ゆっくりと開けます。

つまった用紙が簡単に取れない場合は、無理に引っばらずに次の手順に進んでください。

① 黒色の搬送ガイドを上げ①、つまっている用紙を取り除きます②。

両面ユニットを止まる位置までゆっくりと引き出し①、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します②。

両面ユニットに詰まっている用紙を取り除きます。

※両面ユニットを取り外すときは、必ず前カバーが開いていることを確認してください。前カバーが閉まっている状態で両面ユニットを取り外すと、印刷可能な状態にするために電源を入れなおす必要があります。電源を一度切ると、印刷中のデータが消去されてしまいます。

(A) の部分に用紙が見えている場合は手前に用紙を引っばって取り除きます。

サブ排紙トレイを開けます。

■サブ排紙トレイに用紙が詰まっている場合  
紙づまりの除去 (排紙トレイ/サブ排紙トレイエリア) にある手順 (A) を行います。

■サブ排紙トレイに用紙が詰まっていない場合  
サブ排紙トレイを閉めます。

トナーカートリッジの (A) をトナーカートリッジガイド (B) に合わせて止まるまで差し込みます。

前カバーは確実に閉めます。